



鹿児島県立 市来農芸高等学校 クリケッターズ

〒899-2101 鹿児島県いちき串木野市湊町160番地

家畜昆虫コオロギで環境と経済にエコ



輸入原料の高騰による飼料費や卵の値上げが問題になってます。薩摩鶏の研究から飼育時に環境低負荷であるコオロギに着目し、飼育管理と採卵鶏への給餌実証試験を行い、食糧問題への貢献を目指して活動しています。「米ぬか」や「もみ殻」など安価で入手しやすい資材を使って、好気性発酵による飼料を作れば、飼料価格を削減できるという仮説を立てました。給餌してみるとタンパク源不足が懸念材料であることがわかりました。発酵飼料のタンパク源確保を目指し、ミズアブを使った家畜飼料研究に取り組んでいる香川大学農学部にご相談しました。それがきっかけでコオロギを家畜飼料として使うアイデアが生まれました。

養殖したコオロギは1匹1グラムで冷凍処理し、1%分を入れた発酵飼料と配合飼料を6：4の割合で混合し、薩摩鶏に給餌しました。飼料費を削減しながら、通常と同等以上の鶏卵生産を目指して、採卵鶏での実証試験も行いました。比較した結果、自作したコオロギの飼料でも卵を生産することに成功しました。